

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価
細 施 策	①共生意識を醸成するための相互理解の推進			文化スポーツ部 国際文化交流課	A
施策の内容	外国籍市民と日本人市民は、同じ地域社会を構成する一員として、共生していくという意識を持つことが大切であり、異なる文化を理解し、相互に尊重し、相互に助け合うことができるよう、具体的な交流や国際理解教育を進めて共生意識を醸成していきます。				
平成25年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広報川越の内容を抜粋し、月1回英語版広報川越を発行しました。 ・外国籍市民会議を開催し、市長へ報告を行いました。 ・国際理解講座(1講座)を開講しました。 ・外国籍市民相談として、生活相談(中国語及びスペイン語)を月各2回、法律相談、行政書士相談を月各1回実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H23	H24	H25	
	英語版広報川越の発行(回)	12	12	12	
	外国籍市民会議の開催(回)	6	6	6	
評価の理由	月1回の英語版広報川越の発行、外国籍市民会議の開催、外国籍市民相談などを定期的に行っており、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も英語版広報川越の発行、外国籍市民会議の開催、外国籍市民相談などを定期的に行い、共生意識を醸成するよう、事業を行ってまいります。				

施策の柱	(1)行政の国際化			担当課	担当課評価		
細 施 策	②留学生の支援			文化スポーツ部 国際文化交流課	B		
施策の内容	国際交流センター受付業務の提供、インターンシップ制度の普及、一般市民との触れ合いを通じての相互理解の場などを提供し、留学生を支援します。						
平成25年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流センター受付業務を留学生(東京国際大学・尚美学園大学)に依頼しています。 ・国際交流センターにインターネットコーナーを設置し、留学生の勉学の一助としています。 ・大学が小学校、中学校及び高等学校で行う国際理解教育のために留学生を派遣する事業に協力しました。 ・外国籍市民会議の委員として留学生に参加してもらいました。 						
指標及び説明	【指標】 国際交流センター利用人数		【説明】 国際交流センターの開館日1日あたりの利用者数				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	人	84	73	68	64	56	120
評価の理由	1日当たりの国際交流センター利用人数の実績値は、昨年度からやや減少しましたが、国際交流センター受付業務の留学生への依頼、国際交流センターにインターネットコーナーの設置などの取組ができてきているため、概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	国際交流センターの事業について、広報紙や公式ホームページを利用するとともに、公民館などにも配布し、国際交流センターを広く利用していただけるように市民に向けて広く周知してまいります。						

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(1) 行政の国際化			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	① 共生意識を醸成するための相互理解の推進	国際文化交流課	A	A	A
	② 留学生の支援	国際文化交流課	B		
学識経験者等 意見	国際交流センターの利用人数が減っているようなので、留学生が一般市民と 触れ合えるようなイベント等を国際交流センターで行っていただきたい。				

【方向性】
【施策】

Ⅳ－多文化共生と国際交流・協力の推進
1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	①人材の開発と育成			文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	海外勤務経験者、帰国子女、教員、外国籍市民などさまざまな経歴を有する優れた人材を発掘し、地域の国際化の担い手として育成します。				
平成25年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導員養成講座を実施し、外国籍市民に日本語を教えられる人材の育成に努めました。 川越市外国籍市民国際人材ネットを募集しました。 日本語講座「クラッセで日本語」において、外国籍市民のための日本語教室を毎週3日(月・金・土)、午前、午後、夜間に開催しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H23	H24	H25	
	日本語指導員養成講座参加者数(人)	751(4講座)	525(4講座)	358(2講座)	
	川越市外国籍市民国際人材ネット年度末登録者数(人)	40	40	35	
評価の理由	日本語指導員養成講座の講座内容の見直しを行ったため、平成25年度は新たな講座移行のため2講座の開催となり参加者数は減少となっておりますが、大学講座に準じた内容であり、講座修了時には有能な日本語指導員を養成することから有意義な講座を実施しており、また外国籍市民のための日本語教室を毎週3日、午前、午後、夜間実施しているなど、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	日本語指導員養成講座の内容の見直し検討を行い受講しやすくする工夫をし、今後も共生意識を醸成するよう、多文化理解についての人材を発掘、育成してまいります。				

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	②NGOなどとの協力と連携			文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	国際交流や国際協力に取り組む市民団体、外国籍市民を支援する市民団体等と連携・協力し、地域の国際化を推進していきます。				
平成25年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍市民を支援する市民団体等が行う、国際貢献事業に対する補助金の交付を行いました。 市民団体が主催する日本語教室等を毎週13講座、中国語教室を年間18講座を連携して実施しました。 市民団体が主催する「かわごえ国際交流フェスタ」を連携して実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H23	H24	H25	
	国際貢献事業補助金(件)	3	2	4	
	市民団体と連携した講座等の延べ参加者数	5,461	6,280	5,911	
評価の理由	市民団体が主催する事業を連携協力して実施し、参加者数は昨年度からほぼ横ばいですが、国際貢献事業補助金が昨年度から交付件数も増え予算額上限まで補助金交付しており、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	本補助金制度を広く周知し、外国籍市民を支援する市民団体等と連携協力することで、地域の国際化を推進してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2)国際感覚に優れた市民の育成			担当課	担当課評価
細 施 策	③地域の国際化推進体制の整備			文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	地域の活動を効果的に展開するために、市民や市民国際交流団体が中心となる機関を設置し、社会的に認知されるまでの間、行政が支援していきます。				
平成25年度 実 績	国際貢献事業補助金を申請する団体や市役所を訪問した団体から、その団体の活動についての話を伺うなど、川越市内の市民の国際交流団体の把握に努めました。				
成 果 実 績	項目名(単位)	H23	H24	H25	
	国際貢献事業補助金 利用団体数	3	2	4	
評価の理由	国際貢献事業補助金の実績値が昨年と比べて増えており、国際貢献事業補助金の相談や申請の際に団体活動について話を伺っており、市民団体の把握については、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も川越市内で活動している団体から話を伺うほか、他市の状況についても調査・研究し、市民団体の把握に努め、市民活動による地域の国際化が推進されるよう検討してまいります。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(2) 国際感覚に優れた市民の育成				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①人材の開発と育成	国際文化交流課	B	B	
	②NGOなどとの協力と連携	国際文化交流課	B		
③地域の国際化推進体制の整備	国際文化交流課	B			
				B	
学識経験者 意見等	地域の活動を効果的に展開するために、市民や市民国際交流団体が中心となる機関を設置していただきたい。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実					担当課	担当課評価
細 施 策	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化					文化スポーツ部 国際文化交流課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流を一層発展させるため、川越市姉妹都市交流委員会との連携を図り、支援します。 ・姉妹都市交流の有効活用を通じて、市民に国際交流の場を提供し、青少年の国際理解を推進します。 						
平成25年度実績	セーレム市訪問中学生交流団の派遣、セーレム市文化公演者派遣、オータン市訪問川越市民号の派遣、オフエンバッハ商工会議所表敬訪問、市立川越高校ノースセーレム高校交流団の派遣、日独ビジネス研修生相互派遣を実施しました。						
指標及び説明	【指標】 姉妹都市(海外)間の交流数			【説明】 海外姉妹都市との年間交流回数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	件	3	5	3	8	10	14
評価の理由	海外姉妹都市間交流数の実績値が昨年度に比べ増えており、順調に進ちよきています。						
改善の方策等	海外姉妹都市との交流については実施時期や規模、費用など難しい面はありますが、目標値の実施に向けてさまざまな交流方法を研究・検討してまいります。						

施策の柱	(3)姉妹都市交流の更なる充実					担当課	担当課評価
細 施 策	②新しい地域、都市との交流創出					文化スポーツ部 国際文化交流課	B
施策の内容	身近なアジアの地域とは、政治・経済・歴史・文化などさまざまな分野で相互理解し、発展するために、より質の高い交流・協力関係を構築していきます。						
平成25年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流委員会において、川越市における今後の方向性について機会があるごとに研究しております。 ・川越市日中友好協会の主催する中国語講座を連携して実施しました。 ・川越市外国籍市民会議の委員がアジア出身者で8割の構成となっており、交流協力関係を築いています。 ・国際交流センターの受付業務をアジアからの留学生に行ってもらいました。 						
成果実績	項目名(単位)	H23	H24	H25			
	川越市姉妹都市交流委員会(回)	3	3	2			
評価の理由	姉妹都市交流委員会において、アジア地域との新たな交流について調査・研究を進めており、また、アジア関連講座の共催やさまざまな交流を行っており、概ね順調に進ちよきています。						
改善の方策等	アジア地域との交流については、姉妹都市という関係にとらわれない新たな交流の方法を探り、市民に更なる国際交流や異文化理解の場を提供していくよう努めてまいります。また、他市の状況等も調査し、今後、取り組むべきアジア地域との交流に向けて、調査・研究していきたいと考えております。						

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(3) 姉妹都市交流の更なる充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化	国際文化交流課	A	A	A
	②新しい地域、都市との交流創出	国際文化交流課	B		
学識経験者等 学意 識 見 者 等	アジアの都市との姉妹都市交流については、今後も検討をお願いしたい。				